

参考資料

平成29年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 民 生 活 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区分	平成29年度	平成28年度	伸び率
予算総額	9,158,508千円	13,226,784千円	△30.8%
一般会計構成比	0.5%	0.7%	—

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 生活の安心を高める

P 1	防犯環境整備事業【防犯・交通安全課】	37,000
P 2	埼玉発・高齢者安全運転推進プロジェクト 【防犯・交通安全課】	10,743
P 3	消費者被害対策事業【消費生活課】	113,432
P 4	一部新規 市町村と連携した消費者行政の推進【消費生活課】	296,487

2 人材の活躍を支える

P 5	新規 青少年の非行防止対策【青少年課】	15,342
P 6	アクティブシニアの社会参加支援【共助社会づくり課】	49,803
P 7	新規 地域デビューを後押しする情報発信【共助社会づくり課】	10,635

3 魅力と誇りを高める

P 8	一部新規 多彩な資源を活用した魅力発信【広聴広報課】	56,716
P 9	一部新規 東京五輪に向けた文化プログラムの推進【文化振興課】	39,951
P 10	一部新規 東京2020オリンピック・パラリンピックの推進 【オリンピック・パラリンピック課】	121,589
P 11	東京オリンピックに向けた選手育成の強化 【スポーツ振興課】	54,064
P 12	ラグビーワールドカップ2019大会の開催準備 【ラグビーワールドカップ大会課】	481,551
P 13	一部新規 グローバル人材の育成【国際課】	374,346
P 14	新規 性的少数者の相談に対応する相談員の能力向上 【人権推進課】	866
P 15	一部新規 DV被害者の自立支援の推進【男女共同参画課】	15,245

防犯環境整備事業

担当 防犯・交通安全課 防犯事業担当

内線 2942、2945

1 目的

県内刑法犯認知件数の約3割を占める自転車盗被害を防止する重点対策、子供や女性の防犯対策強化、地域での自主防犯活動の活性化により、安全・安心の確保を図る。

2 事業内容

防犯環境整備推進補助金

27,000千円

市町村が実施する防犯事業の経費の一部補助により、防犯環境の整備を図る。

- ・自転車盗被害防止のため、被害の多発する市町村との連携により重点対策地区を定め、地域に応じた様々な犯罪抑止対策（防犯カメラの設置や2重ロックなど）、啓発強化等を実施
- ・子供・女性の安全確保等の対策としての防犯カメラ設置
- ・小学生への防犯ブザー配布
- ・自主防犯活動へのパトロール用品等支援

自主防犯活動活性化

6,040千円

県民、事業者等による地域での自主防犯活動の活性化を図る。

- ・県民の自主防犯活動への参加促進
- ・青パト活動を開始する団体等へ青色回転灯等装備品の提供
- ・防犯協定事業者用の防犯ステッカーのリニューアル

重点犯罪等抑止対策

3,960千円

県民への防犯対策の啓発強化、効果的な情報発信により防犯意識の高揚を図る。

- ・自転車盗被害防止対策を中心とした防犯対策の啓発強化
- ・県アプリ「ポケットブックまいたま」による防犯情報機能の改善

3 予算額 37,000千円

埼玉発・高齢者安全運転推進プロジェクト

担当 防犯・交通安全課 安全教育・指導担当
内線 2961

1 目的

高齢運転者に対し、加齢による身体機能や認知機能の低下を客観的に体験できる講習会や啓発を行い、自らの運転の状況を認識する機会をすることにより、高齢者が原因となる交通事故の防止を図る。

2 事業内容

埼玉発・高齢者安全運転推進プロジェクト

10,743千円

① タブレットや動画を活用した参加型の講習会

専門的知識を持った高齢者安全運転推進員がタブレット端末等を活用して、加齢による身体機能や認知機能の低下を客観的に体験できる講習会を行い、自らの運転の状況を認識する機会を作る。

② 高齢者安全運転アドバイザーによる啓発

推進員が養成したアドバイザーが地域ごとに安全教育を実施

③ 身体機能を認識できるイベントの展開

各季の交通安全運動などで動画等を活用し、安全運転意識の向上を図るイベントを実施

④ 高齢者事故危険度チェックシートによる自己点検

民生委員の高齢者世帯へのお達者訪問等に合わせ、「高齢者事故危険度チェックシート」を配布し、自己の運転の見直しを呼びかけ

3 予算額 10,743千円

消費者被害対策事業

担当 消費生活課 総務・企画調整担当
内線 2935

1 目的

消費者の利益を守るため、複雑・多様化する消費生活相談に対する助言やあっせんを行うとともに、悪質事業者に対する指導・処分を行う。

2 事業内容

消費生活相談の実施

103,116千円

消費生活相談員を配置し、県民からの相談に助言やあっせんを行うほか、困難事案の解決に向けた対応力強化を図る。

- ① 消費生活相談員及び苦情処理アドバイザー（消費者問題に見識を有する弁護士及び一級建築士等）の配置
- ② 市町村消費生活相談窓口を支援する主任消費生活相談員を増員（7人→8人）

など

悪質事業者対策の推進

10,316千円

県民の安心・安全な消費生活の実現のため、機動的な立入調査により、悪質事業者に対する徹底的な指導・処分を行う。

- ① 警察官OB職員の活用
- ② 悪質事業者対策専門アドバイザー（消費生活関連法等を専門とする弁護士等）の活用

3 予算額 113,432千円

市町村と連携した消費者行政の推進

担当 消費生活課 総務・企画調整担当
内線 2935

1 目的

県及び市町村が連携を図り、高齢者等の消費者被害の防止、消費者教育の推進、消費生活相談窓口の拡充など、消費者を守るための体制強化を図る。

2 事業内容

県事業（一部新規）

116,487千円

高齢者等を見守る地域ネットワークづくりの支援や消費者力向上のための消費者教育の実施、さらに市町村消費者行政への支援などを行う。

① 高齢者等の見守り体制の確立

- ・地域における高齢者等の見守りや消費者被害防止の啓発活動
- ・消費者団体等と連携した消費者被害防止サポーターの支援

② 消費者教育の充実

○ 学校連携等による消費者教育

- ・消費者教育コーディネータの設置検討（新規）
- ・インターネット広告の不当表示の啓発・監視（新規）
- ・成年年齢引下げを見据えた消費者教育の強化（新規）

○ 成人に対する消費者教育

- ・路線バス、ラジオ・テレビCMなど視聴覚に訴える情報発信（一部新規）

③ 市町村支援の充実

○ 消費生活相談体制の強化

- ・消費生活相談員レベルアップ研修
- ・県の主任消費生活相談員による市町村巡回訪問の実施

○ 不当取引専門指導員による悪質事業者対策

- ・市町村の消費生活センター及び各警察署を巡回し、悪質事業者に関する情報収集、調査、情報交換等の実施（新規）

など

市町村補助事業

180,000千円

消費者行政活性化の取組を行う市町村等へ補助を行う。

〔補助率10/10〕

- ① 消費生活相談窓口の環境整備
- ② 消費者被害の未然防止のための啓発に関する取組
- ③ 相談日・時間の拡充に伴う消費生活相談員の人件費
- ④ 高齢者等の消費者被害防止のための見守り活動

など

3 予算額 296,487千円

青少年の非行防止対策

担当 青少年課 健全育成担当
非行防止担当
内線 2912、2914

1 目的

非行のおそれのある少年を早期発見してその非行化を防ぐため、地域の幅広い人材が参画して声かけを行う非行防止パトロールの実施を支援する。

また、非行に走った少年の再犯防止のため、企業や団体等での体験等を通じて社会性を身につけながら、その立ち直りを支援する。

2 事業内容

青少年「街の応援団」事業費

4,342千円

① 声かけパトロールの実施

様々な経験を有する事業主などによる青少年「街の応援団」を市町村に結成し、声かけを行う新たな非行防止パトロールを支援

② 研修会の開催

少年たちの心に寄り添うための声かけやコミュニケーションの方法等のノウハウやスキルを学ぶ研修を実施

青少年セカンドチャンスの場づくり事業費

11,000千円

① 自立を促す活動の場づくり事業

非行少年の体験の場を確保するとともに、非行少年とのマッチングを実施

○ 社会体験

農作業、スポーツ体験、清掃活動等のボランティアなど社会体験活動を実施

○ 就労体験

建築や理美容等の職場体験を通じて、社会生活の基礎的能力の習得や信頼できる大人との出会いなど就労体験活動を実施

○ 学び直し支援

資格取得、進学等に向けた基礎学力の習得を目指した学び直し支援を実施

② 保護者等への総合支援事業

保護者等の悩みを解消する電話相談や専門家等による講演や同じ悩みを持つ方と意見交換できる体験交流会を実施

③ セカンドチャンスを支える協力者拡大事業

立ち直りに協力いただく県民や企業等の裾野を広げ、県全体で自然と支援できる気運を醸成するため、シンポジウム等を開催

3 予算額 15,342千円

アクティブシニアの社会参加支援

担当 共助社会づくり課 共助づくり担当
担い手支援担当
内線 2816、2837

1 目 的

2025年問題を見据え、シニアが地域に「興味を持ち」、社会に参加する「きっかけづくり」を支援する。

より多くの元気なシニア及び現役世代の方々に豊かな知識や経験を地域に生かして、社会から求められる存在、共助の担い手として活躍いただき、地域の活性化を目指す。

2 事業内容

アクティブシニアの社会参加支援事業

42,775千円

① アクティブシニアの社会参加支援事業補助金

シニアの「地域デビュー」を後押しする取組や体制づくりを積極的に行うモデル市町村に対し、その経費を補助する。(市町村への財政支援)また、県内に取組を広げるため地域デビュー支援会議を開催する。

○ 対象事業

- ・地域活動への参加を促すイベントの開催
- ・シニアの活動を支援する関係機関のネットワークづくり

○ 補助総額 36,000千円(3,000千円×12市町村)

② シニアボランティア養成事業

シニアが社会参加する「きっかけづくり」から具体的な活動への参加につなげるためボランティア活動に興味のあるシニアを対象に、その心構えの講座や活動団体との顔合わせを行う。また、彩の国市民活動サポートセンター内に市町村向けサポートデスクを設置する。

○ 市民活動サポートセンター、いきがい大学等と連携して実施 25回開催



③ 地域デビュー出会い創出事業

シニアとNPO等との交流会を県内各地で実施する。

アクティブシニア専門家ボランティア養成事業

7,028千円

定年退職者や現役世代に仕事で培った経験やスキルを生かしたボランティア活動を働き掛けるとともに、中核となる人財の養成を図り、地域の課題解決に取り組むNPO法人等に対する支援の輪を広げる。

- 専門家ボランティア人財の掘り起こし
- NPO法人等の支援に中心的な役割を果たす人財養成講座の実施
- 情報ポータルサイトの運営



3 予算額 49,803千円

地域デビューを後押しする情報発信

担当 共助社会づくり課 総務・NPO認証担当
 担い手支援担当
 内線 2818、2828

1 目的

地域活動に参加していない方には、内容や魅力が伝わっていないために興味が無いという方も多い。また、活動の第一歩は、友人や家族の後押しが有効である。そこで、地域活動の魅力をシニア及びその周囲の方へ届け地域デビューへの第一歩を後押しする。

2 事業内容

地域デビュー「はじめの一歩」応援事業 10,635千円

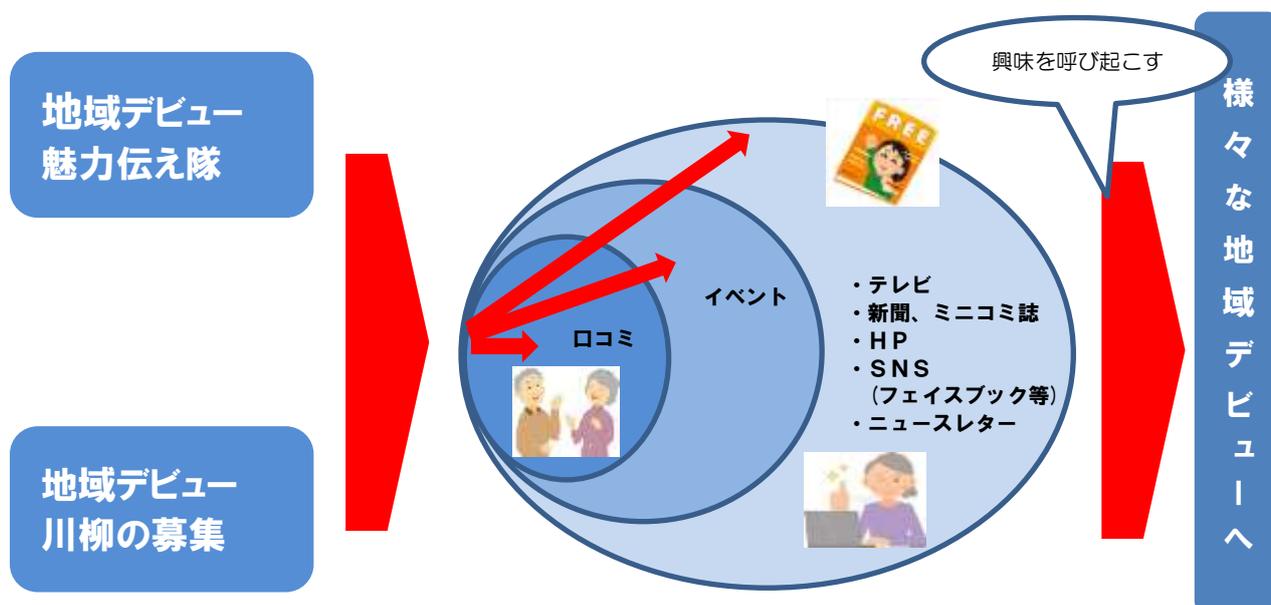
地域活動への興味を呼び起こすため、「地域デビュー魅力伝え隊」及び「地域デビュー川柳の募集」により、継続的、重層的に情報発信を行う。

① 地域デビュー魅力伝え隊

まだ地域デビューしていないアクティブなシニアを公募し、「地域デビュー魅力伝え隊」として自ら地域活動に参加してもらう。地域活動の面白さや魅力を伝える「伝道師」として、地域デビューへの一歩を踏み出せていないシニアに向けて、自らの体験や感想を同じ目線で情報発信する。

② 地域デビュー川柳の募集

シニアの地域デビューをテーマとした川柳をシニアや家族などから募集し、ユニークな作品の発表を通じて、シニアだけではなく、家族など周囲の方にも関心を引き起こす。



3 予算額 10,635千円

多彩な資源を活用した魅力発信

担当 広聴広報課 魅力発信担当
内線 3192

1 目 的

本県が持つ多彩な資源を活用した魅力発信を行うことで、本県の魅力の向上、県民の郷土愛醸成、地域経済の活性化等につなげる。

2 事 業 内 容

自転車を活用した埼玉の魅力発信

33,241千円

① 「埼玉サイクルエキスポ2018」の開催

【期 間】平成30年2月の土日2日間

【会 場】さいたまスーパーアリーナ（コミュニティアリーナ等）

【出 展】100企業・団体以上

【来場者】3.6万人以上

【内 容】自転車関連企業によるブース出展、試乗コースの設置、自転車の楽しみ方・安全利用と埼玉県の魅力を発信するステージイベントの開催等



② 自転車広報サイト「ポタ日和」運営管理費

ポタガールによる魅力スポットの紹介、自転車イベントPR等



埼玉魅力発信戦略事業（一部新規）

23,475千円

① 「WE LOVE SAITAMA」プロジェクトの展開

県庁オープンデー等県民の日普及事業の実施、県民栄誉章等の表彰、冊子「埼玉の魅力」作成等



② コバトン知名度アップ大作戦の展開

コバトン・さいたまっちが主要イベントに出演、着ぐるみの制作及び維持管理等



③ 「まつりだ、埼玉！魅力だ、埼玉！」の展開（新規）

「まつり」PRサイトの開設、メディアミックスによる「まつり」PR等



3 予 算 額 56,716千円

東京五輪に向けた文化プログラムの推進

担当 文化振興課 総務・財団担当
創造・発信担当
内線 2878、2882

1 目的

オリンピック・パラリンピックは、スポーツだけでなく文化の祭典でもあり、東京オリンピック・パラリンピックは、埼玉県の魅力の世界に発信する絶好の機会である。

埼玉の特徴を生かした文化イベントを実施することで、県内の文化芸術活動を活発化するとともに、埼玉の魅力を国内外にアピールする。

2 事業内容

埼玉 WABI SABI 大園会（仮称）の開催（新規） 32,399千円

伝統芸能、盆栽や生け花、茶道など、埼玉の「和」の文化を一堂に集めたイベントをオリンピック開催1000日前に合わせて開催する。

① 開催日：平成29年10月28日（土）、29日（日）（予定）

② 開催場所：大宮公園（予定）

③ 主な事業内容（予定）

- ・特設ステージにおける伝統芸能などの上演
- ・屋外での大茶会の実施、盆栽・生け花等の展示



イベントイメージ

シニア・アーツ・クラブの結成 7,552千円

高齢者が舞台芸術活動を通じていきいきと暮らす社会の実現を目指す。

そこで、故蜷川幸雄氏が高齢者に参加を呼びかけた「1万人のゴールド・シアター2016」の参加者を核に、公演の成果と蜷川氏のレガシーを継承する「シニア・アーツ・クラブ」を結成する。



1万人のゴールド・シアター2016 稽古 撮影：宮川舞子

3 予算額 39,951千円

東京2020オリンピック・パラリンピックの推進

担当 オリンピック・パラリンピック課
総務・委員会・キャンプ担当
内線 2885

1 目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、本県における開催準備を進める。

2 事業内容

東京オリンピック・パラリンピック推進事業管理運営費 19,693千円

- ・2020オリンピック・パラリンピック／ラグビーワールドカップ2019庁内推進会議等の開催運営
- ・広報・情報発信（ウェブサイト運用） など

**2020 オリンピック・パラリンピック／ラグビーワールドカップ 2019
埼玉県推進委員会事業費（一部新規） 101,896千円**

① 気運醸成事業

- ・カウントダウンイベントの開催
- ・県内開催競技のPRイベントの実施
- ・大会時に本県の魅力を発信するための「SAITAMA HOUSE（仮称）」の設置に向けた調査検討（新規） など

② おもてなし事業

- ・ボランティアの確保・育成
- ・ホームステイ等の宿泊対策の調査検討（新規） など

③ キャンプ誘致事業

- ・各国オリンピック委員会等の県内視察対応
- ・平昌2018冬季オリンピック・パラリンピック等でのPRの実施（新規） など

④ 実施計画策定等事業

- ・実施計画（環境・美化等）の策定 など

3 予算額 121,589千円

東京オリンピックに向けた選手育成の強化

担当 スポーツ振興課 競技スポーツ担当
内線 6955

1 目的

国体などで埼玉県代表として活躍しているアスリートのうち、オリンピック出場が期待できる選手を総合的にサポートする。

2 事業内容

強化指定選手への助成

25,143千円

- ① **対象競技**
 - ・オリンピック実施競技
- ② **対象年齢**
 - ・中学3年生以上
- ③ **強化指定選手**
 - ・60名（選考委員会により選考）
 - ・本県登録選手及び本県内学校出身者のうち、競技団体からの推薦があった選手
- ④ **対象経費**
 - ・海外・国内遠征費
 - ・海外・国内合宿費
 - ・個人コーチ・コンディショニングトレーナーの委託料等
- ⑤ **助成額**
 - ・強化指定選手一人当たり 40万円

スポーツ科学による支援

28,921千円

- ① **サポート内容**
 - ・スポーツ系大学等と連携し、身体能力測定や分析を実施
 - ・専門スタッフによるトレーニングメニュー等の作成・提供
 - ・監督・コーチ等と一体となった指導
 - ・定期的な評価と更なる改善



(写真：早稲田大学スポーツ科学部提供)

3 予算額 54,064千円

ラグビーワールドカップ2019大会の開催準備

担当 ラグビーワールドカップ大会課 広報担当
内線 6873

1 目的

ラグビーワールドカップ2019大会に向け、開催準備を進める。

2 事業内容

ラグビーワールドカップ大会埼玉県推進委員会負担金 42,000千円

2年前イベントをはじめとするPRイベントやタグラグビー教室の開催、広報啓発グッズ作成、開催都市プロモーションなど2019年大会に向けた気運醸成事業を実施する。



ラグビーワールドカップ大会事務局経費 15,551千円

非常勤職員報酬、旅費など課の運営経費

ラグビーワールドカップ大会開催都市分担金 50,000千円

大会開催準備費用の一部としての日本組織委員会への分担金
県と熊谷市で1億5千万円ずつ負担
3年度（平成27年度から29年度）に分けて出捐

ラグビーワールドカップ大会協賛宝くじ拠出金 374,000千円

全国自治宝くじとしてラグビーワールドカップ協賛宝くじを販売
開催自治体に均等配分される収益金を日本組織委員会へ拠出

3 予算額 481,551千円

グローバル人材の育成

担当 国際課 グローバル人材育成担当
内線 2712

1 目的

官民連携による新たな奨学金制度と県内疑似留学等で国際的な視野を持った人材を育成するとともに、海外からの優秀な人材の県内企業への就職を支援する。

2 事業内容

民間と連携した新たな海外留学奨学金（新規）

300,000千円

- ① 県と民間が連携した新たな海外留学奨学金制度をスタート
- ② 産学官からなるグローバル人材育成センター埼玉（GGS）が運営
- ③ 冠奨学金制度の創設
 - ・ 一定額以上の寄附者は奨学金の名称や対象・条件を指定可能
 - ・ 寄附者が奨学生の選考に参加することも可能
- ④ 帰国後、埼玉での活躍を志す若者を支援する「地域活躍コース」の創設

埼玉と世界を結ぶグローバル人材の育成（一部新規）

74,346千円

- ① 埼玉から世界へ ～世界へはばたく若者を支援～
 - 県内疑似留学体験「グローバルキャンプ埼玉」の拡充
 - ・ 学校・NPO 単位での実施に対しては費用の一部を補助
 - 「埼玉親善大使」の範囲の拡大
 - ・ 国の奨学金により留学する県内大学の学生等にも新たに委嘱
 - ・ 海外で県の魅力発信に使える「親善大使ハンドブック」を作成・提供（新規）
 - 「“日本語パートナーズ”派遣事業」
 - ・ ASEAN 諸国に日本語教師の助手を派遣
- ② 世界から埼玉へ ～海外からの留学生を埼玉につなぐ～
 - 県内企業への就職支援
 - ・ インターンシップの拡充、企業就職面接会、企業と留学生の交流会の開催
 - ホームステイ促進
 - ・ ホストファミリーへの受入研修の開催・受入費用の一部負担（新規）

3 予算額 374,346千円

性的少数者の相談に対応する相談員の能力向上

担当 人権推進課 企画・総務担当
内線 2829

1 目的

性的少数者の相談に対応する相談員の能力向上を図るため、県の相談員への専門研修や市町村との合同研修を実施する。

2 事業内容

新たな人権課題に対する支援事業

866千円

① 相談員専門研修

- 目的
 - ・ 性的少数者に対応する相談員の対応技術の向上
- 対象者
 - ・ 男女共同参画推進センター（With Youさいたま）相談員等
- 内容
 - ・ 対応が困難な事例の対処方法等の検討を中心とした研修

② 相談機関の合同研修

- 目的
 - ・ 全体的なレベルアップを図るための研修
- 主な対象者
 - ・ 性的少数者の相談を受ける機関の職員
- 内容
 - ・ テーマを変えて4回程度実施
 - ・ テーマに合わせて専門家（医療関係者、法律関係者等）が解説
 - ・ 相談員がグループワークを実施

3 予算額 866千円

D V 被害者の自立支援の推進

担当 男女共同参画課 DV対策担当
内線 2925

1 目的

DV被害者の自立支援に向け、母子の自立への活力を引き出すための心理教育プログラム等を実施するとともに、DV被害者の継続的個別支援を行う民間団体を育成する。

2 事業内容

ストップDVパープルネットさいたまプロジェクト事業費（一部新規）

10,117千円

① DV被害母子の心のケア

DV被害母子が身近な地域で心のケアを受けられるよう、市町村との広域連携により心理教育プログラムを実施し、普及を図る。

また、DV被害母子に係る電話相談を新たに実施し、プログラムの効果持続やプログラムを受講できなかった母子の心のケアを図る。（新規）

② 民間団体による継続的自立支援

シェルター等を運営する民間団体に委託し、心のダメージにより就労が途切れがちなDV被害者に対し、心のケアを含めた継続的な自立支援を行う。

DVからの回復 民間活力パワーアップ事業費（新規）

5,128千円

① 民間団体育成

DV被害者の多様な状況に対応した支援を行うことができる民間団体を育成するため、団体スタッフの資質向上研修などを実施する。

また、被害者の自立支援において必要な多くのサービスを提供する市町村と民間団体との情報交換会を行う。

3 予算額 15,245千円